PDP 教育関係共同利用拠点提供プログラム　教授技術論：L-04

ライティング支援者を育成する

2014.3.12（水）13:30〜17:30

東北大学 青葉山キャンパス(工学部) 総合研究棟1階101・2階201,205

大学院博士課程後期や助手，助教になると，学生に対してレポートの書き方や論文指導をしなければいけない場面が増えてきます。しかし，私たちの多くは，学術論文の書き方を，卒論や修論の執筆の際に指導教員や先輩から教えられた経験はあっても，いざ，体系立てて書き方を教えることになると戸惑うのではないでしょうか。本セミナーでは、学術論文の書き方を指導する院生（ライティング支援者）を育成している先生を講師にむかえ，ライティング指導の理論や学術論文の書き方支援を実践的に学ぶことを目的としています。

【定 員】40 名（事前申込制）
【対 象】大学院博士課程後期在学中の院生，ポストドクトラルフェロー，助手 , 助教など若手研究者や教員でライティング支援に関心をもっている，もしくは支援を行っている方

プログラム

13：30−15：55　セミナー　　**会場：1 階 101**

▷講演 1「ライティング・センターで書き手を育てる」
佐渡島 紗織（早稲田大学ライティングセンター長 / 教授）
［ 講師紹介 ］早稲田大学で院生向けの授業を提供し，受講生はライティングセンターのチューターとして活躍しています。また，ライティング支援法についての経験も豊富にお持ちです。いずれの取り組みも 5 年以上の実績があり，日本の大学におけるライティング支援の先駆的取り組みと言えます。

▷講演 2「文系チューターが指導する理系英語アカデミックライティング：駒場ライターズスタジオの実践」
片山 晶子（東京大学駒場ライターズスタジオマネージャー / 特任講師）
［講師紹介］東京大学で学部 1 年生向けの理系論文の書き方（ALESS プログラム）および文系論文の書き方の授業（ALESA プログラム）と連携しライティング支援を提供する駒場ライターズスタジオを運営されています。

▷講演 3「分野横断的なアカデミック・ライティング指導 ―留学生の日本語クラスでの実践から―」
佐藤 勢紀子（東北大学高等教育開発推進センター教授）
［講師紹介］「留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック」の編著者の 1 名で，論文読解や論文作成を目的とするアカデミック・ジャパニーズ関連教材の開発に取り組まれています。大学の国際化推進に伴い，年々増加している留学生に対して，日本語でのライティング指導を実施することは大学の重要な役割の 1 つであり , また , 留学生に理解しやすい指導法は日本人学生にとっても効果的であると考えられます。

▷東北大学取り組み報告とワークショップの説明

15：55−16：10　休憩（移動）

16：10−17：30　ワークショップ　※申込み時に参加希望のワークショップを選択して下さい。

ワークショップ 1　会場：1 階 101
「書き手を尊重するライティング支援」
講師：佐渡島 紗織
ラーニング・コモンズ、ライティング・センター、ライティング授業などで文章指導に携わる方、またこれら指導者を育成する立場の方を対象とします。支援の考え方を確認し演習を行います。

ワークショップ 2　会場：2 階 201
「IMRD の英語科学論文を指導してみよう -- 実践チューター訓練」
講師：片山 晶子
英語論文やレポート作成の支援をされている方を対象に、実際に初心者が書いた IMRAD (Introduction, Method, Results, and Discussion) 形式の科学論文を使って、駒場ライターズスタジオで行っているチューター訓練の一部を体験してもらいます。

ワークショップ 3　会場：2 階 205
「論文の展開パターンを見出し、使ってみよう」
講師：佐藤 勢紀子
留学生を含む大学生•大学院生の日本語論文の指導に関係している方を対象に、複数分野のサンプル論文を用いた、展開パターンに即したライティングの指導法を紹介します。

参加申込み方法　ＨＰの「イベント申込み」から申込みいただけます。

http://www.he.tohoku.ac.jp/　東北大学高等教育開発推進センター　検索

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先（e-mail）を明記の上、pffp_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

東北大学高等教育開発推進センター
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471　Email.pffp_office@he.tohoku.ac.jp

共催　東北大学高等教育開発推進センター
東北大学付属図書館